

## 新品種のもち麦を寄附

### 農事組合法人アグリささと

7月8日、農事組合法人アグリささとから学校給食用に、篠本地区で栽培されている新品種のもち麦「きだもち」12kgの寄附が寄せられました。

町内小中学校の7月9日と18日の給食にもち麦入りご飯として提供され、子ども達はもちもち、ぷちぷちとしたもち麦を味わいました。



## 学校教育のために寄附

### 光ライオンズクラブ

7月24日、光ライオンズクラブから光中学校の楽器購入に役立てて欲しいと、町へ20万円の寄附が寄せられました。大切に活用させていただきます。ありがとうございました。



◀虫封じ

▼鬼が亡者を釜ゆでにする「釜入れ」



因果応報、勧善懲悪を説く古典的仏教劇の鬼来迎は、鎌倉時代にはじまり、およそ800年の伝統があると言われていきます。今年も地獄の釜が開くと言われる8月16日、虫生地区の広済寺で地元鬼来迎保存会により上演され、大勢の観客が、全国でも珍しい仏教劇を食い入るように見つめました。

また、上演前には、鬼婆に抱かれた子どもは健康に育つと伝えのある「虫封じ」が行われ、境内に赤ちゃんの大きな泣き声が響き渡りました。

# 鬼来迎

虫生広済寺

地獄絵図を再現



## 海のイベント

町観光まちづくり協会

7月20日、屋形海水浴場で、会場の砂に埋められた景品の引換札を探す「宝さがし」イベントが開催されました。

「小学生の部」「小学生未満親子の部」「一般の部」に分かれて行われ、約500人が太陽の光を浴び熱くなった砂を掻き分けながら懸命に「宝」を探しました。

※7月27日の観光地引網と7月28日のビーチバレー体験教室は、天候不良により中止となりました。



## 楽しい夏休みを過ごすために

### 水辺の安全教室

夏本番を迎える前に、水辺で遊ぶ子ども達が、自分の命は自分で守る意識や技能、知恵を身につけることを目的に、大総・横芝・南条小学校で、水辺の安全教室が開催されました。

水辺で落水した時の対処法を学ぶため、着衣泳を行ったほか、身近にあるペットボトルやライフジャケットでの浮遊体験を行い、「無理に泳がず「浮いて待つ」ことを学びました。

